

開運成就 粟生聖天

真言宗 智山派

定福寺だより



定福寺講堂完成予定図

蓮咲くは
笑い地蔵の
在す寺

能傳子

新四国曼荼羅霊場第六十一番

2020年 59号

かのえ ね うるう
庚子閏



ごあいさつ

住職 釣井 龍秀

皆様におかれましては、日々御信心で定福寺にご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。また、お陰様で多くの方々にお寺を訪れて頂き、楽しんでいただいております。本年もよろしくお願いいたします。

平成から令和となり、天皇陛下の即位の礼など日常にはない、様々な儀式を興味深く拝見させて頂く機会がありました。私が興味を持ちましたのは、高御座たかみくらです。皆様も本堂や持仏堂で、ご覧いただいたことがあると思いますが、京仏具と言われる京都の職人さんによる塗の壇や机などがお寺にはあります。それらの掃除や手入れをしていますので、最初に高御座たかみくらの美しさと機能に大変興味をもちました。高御座たかみくらは即位の礼で使用される壇です。高御座たかみくらという文字は七四四年に初めて使用されるまでは、壇所たかみくらと書かれていたようです。即位をされる場である壇所たかみくらは、もともと巨岩の上に作られた祭場であり、そこに大王家の祖霊や祖先神が祀られていたということです。その壇上に大王が立つことにより権威が身につくとされていたそうです。

即位式を研究されている和田萃氏わだあつむによりますと、現在のような高御座に登り即位をする登壇即位の形式は、雄略天皇（四五六年）からはじまり、鏡や劔が大王位として授受されるようになったのは、継体天皇（五〇七年）以降とされています。即位の礼は、真言宗や天台宗の密教とも深い関係がございます。

天武天皇の時代の六八〇年から『金光明最勝王経（金光明経）』と『仁王経』というお経が、国家平安のためにお唱えされています。

した。定福寺が開創された翌年の神亀二年（七二五）に、持統天皇が全国の寺院に「冤を除き祥を祈ることは、必ず幽冥に憑り、神を敬ひ仏を尊ぶことは、清浄を先と為す」と命じ、神と仏への信仰と經典のお唱えを命じました。豊永郷には毎年夏に各地区でお堂祭りがありますが、そこで修法し、お唱えをしているのはこの『仁王経』です。

聖武天皇の時代の天平九年（七三七）からは国家安寧を願い、僧侶による法要がおこなわれていました。神護景雲二年（七六八）の頃から正月八日から七日間の恒例行事として太極殿御齋会たいぎよくでんごさいえがおこなわれています。太極殿御齋会たいぎよくでんごさいえに廬舎那仏三尊が安置され、諸大寺の僧侶によりお経が唱えられていました。平安時代になると、密教の影響もあり、即位灌頂そくいかんじょうという儀式が始まります。灌頂とは密教では、頭頂に水を灌いで諸仏や曼荼羅と縁を結び、戒律や資格を授けて正統な継承者とするための儀式で、手で結ぶ印や真言を伝授されます。密教の僧侶は、伝授された印や真言を



高御座 読売新聞2019年10月19日より

人に見せてはいけなもので、衣の中で印を結びます。弘安十一年（一二八八）の記録には、「去る御即位時、関白秘事を申す、この事他家は存知せざるの由これを申さる、高御座に着座の時印象ありと云々」とあり、高御座で印を結んでいたことがわかります。明治天皇以降、仏教色は廃止され約一千年続いた儀式は大きく変化をすることになりました。

このように伝統、文化や風習はその時代の人々の要求や環境によって変化をします。豊永郷の文化をはじめ土佐文化など文化は人や物、思想が行きかう中で地域に合ったものが定着し、更に変化をさせながら現在にまでいたっております。先師の記録より真言宗の寺院や僧侶の変化も知ることができます。例えば、定福寺の持仏堂から仁王門までは回廊があり、仁王門の下には大門がありました。現在の仁王門の下には蓮池がありますが、蓮池から民俗資料館まで教院があり多くの書物や経典、書き物があり、教院の中央の部屋は寺子屋のように学べる場があったことがわかります。それらは火災により焼失いたしております。また、明治時代まで僧侶は結婚はしていませんでした。政府の命令で結婚や肉食となりました。定福寺で義光僧正の代の人々が初めてお寺で生まれた子供たちになります。

お寺も僧侶も変化していることが分かります。しかし、大事にしなければならぬこともあります。お寺では、その判断と決断はその時代の僧侶が行います。その為に若い頃から日々精進をすることが重要だとされています。

ここ十年、ご法事やお葬儀、またご祈祷や定福寺にお越しになられる方々の願いが変化をしていることに気がついていました。江戸時代に九千人、また昭和三十年代には二万人近くいた住民が、現在では豊永郷だけでいえば三千人弱となっています。何の変化もなく

九千人がいた時代の道具や技術、また社会環境で三千人だけで生活ができるのかと言えば、疑問です。道具や技術、交通事情や生活環境の整備ができたお陰で生活が成り立っていると思います。

定福寺も現在、変化に対応しお寺をこれからも守るために、祈りを軸にし事業に取り組んでいます。

皆様方には、大変なご負担とお願いをいたしております。寺族も様々にお寺の維持のために頑張っております。何卒ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

古文書収集活動へのご協力をお願い

三年後の定福寺開創一三〇〇年の際に、『豊永郷（仮）』という本を出版いたします。豊永郷のことで現在わかる範囲のことを調査し、本にまとめようといっております。古文書に関しては、高知城歴史博物館のご協力を頂き、また仏像に関しては奈良文化財研究所をはじめ多くの先生方のご協力を得て製作しようと致しております。

つきましては、皆様方のお家にございます古文書（紙片でも結構です）をお預かりさせて頂き、調査をさせて頂きたいと思っております。もしお家にございましたら、ご連絡をいただければお伺いさせて頂きます。宜しくお願いいたします。

「ごあいさつ」でもお伝えさせて顶きましたが、ご法事やお葬儀などが変わってきています。大豊町から転出され高知市や南国市、香美市などに在住されている方が多くなりました。またかつては、ご法事は大豊町内の各家で行い、後に精進おとしのおきやくをいたしておりました。最近では、大豊町に住む両親がご高齢となり、またご家族は町外に住んでいる方が多く、



駐車場から境内への通路

ご法事を行うために大豊町の家
の片付けや準備が大変になって
いるという現状があります。そ
こで、多くの方がお寺でご法事
を行い、お寺の会館でお食事を
とり、それぞれにお帰りになら
れる方が多くなりました。また
町外からお寺へご法事にお越し
になられていた方々が、ご高齢
となり車でお越しなられること
が大変な方も増えてきました。
結果として大豊町外でのご法事
が四割を超えることとなり、お
寺のご法事も三割程度になって
います。県外のご法事やお葬儀
も多くなり、現状では、ご法事
の大半がお寺と町外（特に高知
市内）となりました。今後もこ
のような現象が増えていくと考
えられます。

そこでお寺では、三つの事業
をこの三年間で進めてまいりま
した。一つが定福寺の駐車場の
整備と車いすやベビーカーを押
して境内を移動できるように整
備をすることです。これまでの
駐車場の下に車いすの方が昇降
できるように駐車場と多目的の



1階駐車場とトイレ

水洗トイレを設置いたしました。
また、ご法事が行われる持仏堂
まで車いすでお越しいただける
ように整備をいたしております。
本堂までも車いすやベビーカー
でご参拝頂けるようになる予定
です。二つ目は定福寺の下の方
道沿いの敷地を取得しようと交
渉中で、最終段階になっていま
す。こちらには観光バスも停車
できる予定です。三つ目は、高
知市内に私の実家がございます



駐車場

が、両親とも他界し、空き家と
なっています。来年中に一階を
改修しご法事ができるようにさ
せて頂きます。定福寺の分院と
なります。ご法事の御依頼の際
にどちらでご法事を希望される
のかお申し付けください。
*この事業はお寺で行う事業で
あり、現在行っているご寄付
とは関係していません。

笑顔一番（えがおいちばん）

長老 釣井 龍宏

去る令和元年十一月吉日に、真言宗善通寺派総本山善通寺前管長猊下檜原禪澄大僧正より、何年も繰り返し使うことができる「笑顔一番」と云う日めくりカレンダーを届けていただきました。ひと月の日めくりの中に、八回、「笑い」について優しい言葉が書かれています。中に、「一笑一若」「一つ笑えば一つ若くなる」との言葉があります。

今から五十余年前、当山で日曜学校を開き、大勢の子供たちが集まり、薬師如来のご真言「オンコロコロセンダリマトウギソワカ」を「オンニコニコ腹立てないそわか」と、楽しく唱えていたこと等々、当時の子供たちの笑顔が浮かびます。

当山の笑い地藏さま六軀は、人々をより幸福なところにご案内し、みんなが喜び笑っている姿を見て、お地藏さまご自身が笑っている姿であるとされています。鎌倉時代の木造佛像で笑いのその姿は、日本では定福寺のみといわれます。東京国立博物館、多摩美術大学博物館など約四十日間出展され、またNHKのハイビジョンでも放映され、そのお姿は世界に知られるようになりました。

先日、東京在住の在家のY様より、この頃「ナマステ」こんにちは」のインドのあいさつから始まる笑いのヨガを行い、

それがとても評判が良いと聞きました。まさに笑いは国際的に大切であり、笑いの花が咲けば宇宙も笑いでいっぱいです。笑いましょう。そして笑って、平和で長生きしましょう。そして、みんなで幸せにすごしましょう。

笑顔一番。



詠歌会講員さん

昇級試験合格

渡辺和子さんと小笠原京子さんが、窪川の岩本寺で行われました御詠歌の検定試験に合格いたしました。いくつになっても向上心を持ち続けられる姿には、感動し、私もお二人の年齢になっても何かで向上心を持てるように楽しみたいと思います。

御詠歌の練習は、月2回です。お越しいただける時だけでも結構ですので、お気軽に体験にお越しください。道具などはお寺でお貸しします。練習は机と椅子です。練習日は月によって違いますのでお電話にてご確認下さい。



二〇一九年の住職

- ・高知県文化財化の依頼で原稿執筆
- ・五台山竹林寺落慶法要 会奉行を担当
- ・原典で読む『古事記』『日本書紀』神道を学ぶ僧侶講習会（於種智院大学）
- ・天皇陛下の即位時にのみおこなわれる大法の伝授を受けました（於醍醐寺理性院）
- ・高知県には歴史館や高知城博などの博物館、美術館、オーテピアなどの館長や学芸員が集まるミュージアムネットワークという会があります。私は定福寺宝物館館長・主任学芸員、また豊永郷民俗資料館主任学芸員という立場で、ミュージアムネットワークの理事をいたしております。高知県教育委員会からの依頼で、「土佐学びの日」に帯屋町のアーケードにブースを出して、豊永郷の紹介を行いました。
- ・高知城歴史博物館の評議員をいたしておりますので、定例評議会に参加いたしました。
- ・将来の定福寺を基盤とした豊永郷での活動を考え、大学に通っています。二〇二〇年三月に卒業予定。
- ・大豊町観光開発協会の理事になりました。
- ・大豊町観光開発協会の関係で、大豊町地域創生委員として会に出席いたしました。
- ・開創一三〇〇年共同企画打合せ（竹林寺・岩本寺・高知県歴史民俗資料館）
- ・サッカーのC級ライセンス、審判4級を所持し、小学生をコーチ。春選手十三名豊永郷宿泊。市内の児童が梶ヶ森など豊永の自然を楽しみました。
- ・高知県立大学豊永郷での授業助手
- ・土佐豊永万葉植物園の事業の打合せ（牧野植物園稲垣先生監修）
- ・各団体定福寺案内
- 二〇二〇年の住職予定
- ・二月十三日 三好市市民大学の講師として講演
- ・四月高知市の機関誌『あかるいまち』の「歴史万華鏡」に執筆予定（三回目）
- ・総本山智積院に於いて一流伝授に参加

講堂建設のための御寄付のお願い

皆様には、大変なご負担をおかけいたしております。「あいさつ」でもお伝えさせていただいたように、今後10年の間に、多くのお寺があらゆる変化を余儀なくされると考えています。定福寺の特徴は、「祈る場であり、学ぶ場であり、多くの人が集う場」であります。それは皆様のご先祖様をはじめ、定福寺にご縁のあった多くの方々のお陰で、そのようなお寺となりました。近年では、多くの旅行会社さんに、定福寺に立ち寄っていただける場となってきました。その原因は、定福寺の祈りの場としての雰囲気、また定福寺を支えてくださった豊永郷の人々の生活が感じられるからです。人口の減少や社会環境を考えると今後、このままではこれまでのように定福寺を維持することが難しくなると考えています。境内の整備、今後のお寺の活動の礎を築くための活動を続けてまいりました。また定福寺の防火設備は古く十分ではありません。これを機に見直す予定です。何卒ご理解の上、ご助力を宜しくお願いいたします。

講堂建設志納金の

感謝録

昨年四月より定福寺開基一三〇〇年・弘法大師誕生一二五〇年記念事業として、「定福寺講堂建設勸募」が始まりました。

定福寺檀家信徒の皆様には、諸費御多端の折かと存じますが、趣意をご理解いただき、多大なるご協力を賜っております。

一期・二期・三期・四期と分けてご志納のご予定の方もいらっしゃるかと存じます。どうぞ引き続きご協力いただきたく、宜しくお願い申し上げます。

ご志納に対しまして、深く感謝申し上げますと共に、ここにご報告申し上げます。

尚、定福寺だより作成の都合上、令和元年12月18日までに志納頂いた方のご芳名を順不同にて載せさせていただきます。

ご了承くださいませ。

現在の志納金総額は

金 二千九百七十一万二十五円

でございます。

一、金 壹百万円也

京都市 小笠原康夫様

大豊町大砂子 北村 光幸様

川崎市 西村 真紀様

京都市

オープン工業株式会社様

一、金 五十万円也

大豊町東土居 西村 藤子様

高知市 (有) 成豊建設

代表取締役 上村 一正様

一、金 参十万円也

高知市 寛 邦彦様

一、金 貳十万円也

茨木市 南 博志様

高知市 北村 真一様

一、金 十五万円也

横浜市 三宅 博子様

大豊町柚木 前田 波穂様

一、金 十三万円也

高知市 小松 久保様

大豊町三津子野 豊永 信一様

一、金 十二万円也

高知市 井上 央様

守口市

福岡市

高知市

高知市

南国市

高知市

土佐市

高知市

大豊町高須

高知市

我孫子市

高知市仁井田

野市町

南国市

高松市

大豊町粟生

室戸市

美馬市

高知市

南国市

神戸市

高知市

高知市

高知市

善通寺市

高知市

大豊町桃原

南国市

野市町

岩本 功様

大原 啓典様

岡崎 順一様

小笠原郁子様

小笠原雪子様

小笠原育彦様

小笠原和雄様

小笠原利夫様

小笠原利友様

小笠原秀郎様

小笠原博幸様

小笠原正様

小笠原幹雄様

小笠原美智様

小笠原光子様

岡本雄四郎様

岡本 英子様

門田 健夫様

門田 利彦様

門田 操一様

上地 正子様

上村 馥様

上村 太喜夫様

上村 守様

上村 吉秋様

上村 義久様

上村 秀夫様

北村 竝生様

北村 佐智子様

南国市

高知市

丸亀市

南国市

高知市

土佐山田町

四国中央市

大豊町庵谷

神戸市

名古屋市

野市町

高知市

高知市

土佐山田町

高知市

南国市

大豊町寺内

船橋市

南国市

新居浜市

徳島市

土佐山田町

大豊町庵谷

松山市

名張市

高知市

南国市

大田市

高知市

小林 綾子様

小松 一郎様

笹岡健太郎様

佐竹 弘敏様

澤田 美紀様

下村 宏治様

下村 忠広様

白石 知代子様

白石 昌久様

鈴木 弘美様

大家 正福様

高橋 節子様

瀧下 靖夫様

竹崎 太一様

長野 智晴様

孝弘様

都築 正子様

都築 満男様

寺石 健児様

豊永 英夫様

豊永 紀子様

中村 義明様

永森 孝宏様

永森 遥子様

西村 圭太郎様

西村 文夫様

西村 満恵様

西村 美津子様

西村 聖一様

信高 幸子様

東大阪市	林	育子様
吾川郡いの町	平石	聡様
高知市	平石	甲子郎様
土佐山田町	平石	宮子様
大豊町川口	平石	安央様
高知市	平石	礼子様
高知市	平石	君子様
高知市	岡本	益子様
神戸市	藤本	功様
大東市	藤原	政直様
土佐山田町	前田	昌章様
南国市	前田	和男様
高知市	松田	時江様
南国市	松高	清信様
倉敷市	三谷	祐功様
土佐山田町	三谷	茂敏様
高知市	三谷	孝子様
大豊町戸手野	三谷	豊恵様
高知市	三谷	直行様
南国市	三谷	政博様
南国市	三谷	俊美様
南国市	三谷	由美子様
高知市	三谷	義兼様
高知市	三谷	栄男様
伊丹市	三谷	修司様
南国市	村上	三郎様
南国市	森本	憲昌様
東京都西多摩	柳村	真理子様
高知市	山崎	豊様
安芸市	山中	達志様

高知市	山本	光子様
高知市	吉永	俊誠様
高知市	渡辺	茂信様
高知市	渡辺	芙佐子様
大豊町沖	前田	大子様
大豊町大畑井	西村	澄子様
大豊町大畑井	笹岡	修一様
大豊町大畑井	笹岡	愛子様
大豊町久生野	笹岡	香代子様
大豊町久生野	上地	益美様
大豊町土居番	大田	宏一郎様
大豊町野々屋	小笠原	啓元様
大豊町川井	小松	浩久様
大豊町高原	門田	浩人様
大豊町落合	門田	将男様
大豊町落合	近藤	幸紀子様
高知市	三谷	松太郎様
大豊町八畝	西村	家光様
大豊町八畝	笹岡	登美様
大豊町八畝	信高	春代様
大豊町八畝	西村	時宗様
大豊町八畝	西村	幸子様
大豊町三津子野	西村	茂頼様
大豊町怒田	門田	福實様
大豊町怒田	森尾	憲一様
大豊町南大王	岡本	弘様
大豊町栗生	田内	美伎子様
大豊町栗生	渡辺	和子様
大豊町大滝	小松	栄子様

大豊町大滝	小松	俊久様
大豊町八川	小松	フキ子様
大豊町八川	小笠原	花美様
大豊町東土居	小笠原	信子様
大豊町東土居	秋山	公生様
大豊町東土居	松本	秋子様
大豊町岩原	藤原	正至様
大豊町岩原	三谷	倫子様
大豊町筏木	三谷	昌幸様
大豊町筏木	三谷	義孝様
大豊町筏木	三谷	清様
大豊町黒石	小笠原	良一様
大豊町上東	三谷	幸夫様
大豊町上東	三谷	幸夫様
大豊町川戸	西村	享子様
大豊町安野々	都築	富恵様
大豊町桃原	坂本	国治様
大豊町桃原	佐竹	和彦様
大豊町大砂子	財木	貞広様
大豊町大久保	都築	昭仁様
大豊町永渕	北村	治仁様
大豊町永渕	北村	政夫様
大豊町佐賀山	山中	和彦様
大豊町佐賀山	小笠原	茂夫様
大豊町佐賀山	西村	正子様
大豊町佐賀山	西村	武明様
高知市	石本	喜久子様
高知市	大崎	一男様
高知市	徳増	和男様
高知市	弘瀬	登美子様

春日井市	藤原	清高様
高知市	岩村	久様
大阪市	上	清文様
高知市	豊永	正富様
高知市	門田	速雄様
高知市	笹岡	良男様
大豊町柚木	松田	健一様
八王子市	上村	公昭様
大豊町安野々	都築	俊子様
西宮市	岡崎	孝之進様
高知市	下村	元明様
大阪市	青木	幸様
岡山市	吉岡	和子様
高知市	田内	喜久世様
一、金 九万円也	三谷	浩視様
守山市	三谷	浩視様
一、金 六万円也	池尻	常様
三好市	大家	浩二様
神戸市	永森	美智様
高知市	西谷	芳信様
野市町	日浦	種子様
四日市市	吉村	富由子様
大豊町庵谷	前田	品子様
大豊町柚木	小笠原	伊豆子様
大豊町東土居	北村	利男様
大豊町永渕	上田	直人様
高知市	上田	直人様

稲沢市 山中 泉様
大豊町野々屋 永森亀太郎様
南国市 岡崎ヨシ子様

一、金 五万円也

枚方市 上村 まき様
東大阪市 田中 球地様
高知市 豊永 啓一様
大豊町小川 山口 京子様
大豊町上東 山中清和子様

一、金 四万円也

大豊町野々屋 永森 宗雄様
大豊町野々屋 氏原ヒ口子様
大豊町野々屋 小笠原良太郎様
大豊町野々屋 重森 好文様

一、金 参万円也

高知市 飯田 順一様
千葉市 石川 陽一様
堺市 伊野原富美様
高知市 氏原 靖夫様
高知市 氏原 靖視様
高知市 大崎 和様
高知市 小笠原敏雄様
東近江市 小笠原昌彦様
高知市 尾立 靖宣様
高知市 上地 幸男様
高知市 上村 正男様

高知市 上村 満尚様
高知市 北窪 康宏様
高知市 小松 英正様
高知市 小松猪佐夫様
高知市 笹岡袈裟穂様
高知市 笹岡 朝吉様
高知市 佐竹 正敏様
南国市 下村 定様
南国市 大家 福盛様
神戸市 高橋 豊様
高知市 都築登喜子様
大豊町高須 徳弘 幸盛様
南国市 永澤 悦穂様
高知市 中西 清彦様
大豊町杉 永森八重子様
香美市香北町 西村 盛様
高知市 西村 正様
高知市 藤原 一男様
大豊町柚木 前田 勝水様
大豊町和田目付 前田 浩二様
高知市 松田 修昌様
高知市 三谷 一彦様
大豊町寺内 三谷 和也様
吾川郡いの町 三谷 敬晃様
高知市 三谷 宏様
大豊町高須 村山志津子様
南国市 森尾 麻依様
大阪府泉南 山崎 博三様
高知市 吉村 広様

南国市 依光 佳景様
大豊町大畑井 三谷 博信様
大豊町大畑井 永森 高子様
大豊町大畑井 三谷勇太郎様
大豊町久生野 渡辺 栄蔵様
大豊町久生野 笹岡 寛様
大豊町蔭 八木 恒子様
大豊町土居番 三谷 良子様
大豊町野々屋 三谷 敏子様
大豊町川井 渡辺 盛朗様
大豊町落合 笹岡たか子様
大豊町八畝 西村政次郎様
大豊町八畝 西村 正尚様
大豊町八畝 三谷 裕一様
大豊町怒田 久松 一男様
大豊町怒田 森 栄太郎様
大豊町怒田 渡辺 君様
大豊町八川 小笠原和子様
大豊町東土居 平石 義信様
大豊町上東 小笠原美衛様
大豊町大砂子 豊永 信一様
大豊町大久保 北窪 博章様
大豊町佐賀山 山中 国男様
高知市 井口シズエ様
高知市 岡本 圭子様
徳島市 武井 千津様
徳島市 鶴原 正一様
高知市 弘田 允英様
高知市 三谷 虎子様

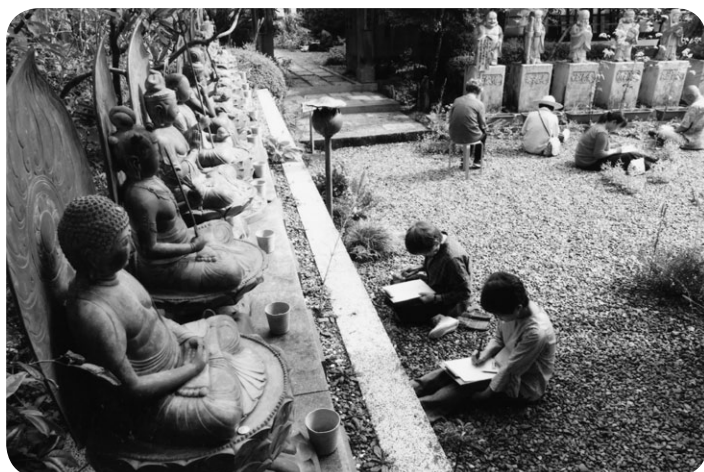
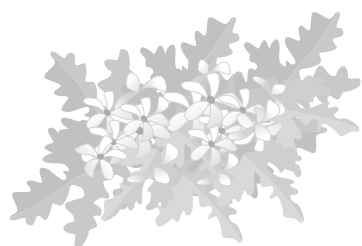
大豊町寺内 久保 慶子様
徳島市 北浦 奈都様
徳島市 北浦 奈々様
徳島市 武井 秦様
高知市 三谷 節夫様
高知市 畦地美知子様
大豊町大砂子 長瀬 澄男様
大豊町大砂子 小笠原光秋様
南国市 小林 幹雄様
大豊町大砂子 中西 一則様
大豊町大畑井 三谷 優子様
大豊町怒田 朝倉 榮一様

一、金 貳万円也
大豊町大砂子 門田 平様

一、金 壹万円也
高知市 小笠原由美子様
名古屋市 小笠原一夫様
高知市 三谷 晴澄様
高知市 三谷 幸正様
大豊町久生野 大田 昌通様
大豊町久生野 笹岡 信子様
大豊町久生野 氏原 菊子様
大豊町大砂子 門田千仁子様
大阪市 高倉 紘世様
南国市 田淵 能生様
大豊町野々屋 氏原ヤスミ様
大豊町栗生 三谷富二子様

平成30年10月に高知県立牧野植物園での研修を行いました。今回は牧野植物園の稲垣典年先生を土佐豊永万葉植物園にお迎えしました。会長の畑山正親様をはじめ、約30名の会員が参加しました。

令和元年10月11日、夏の暑さが残る陽気の中、豊永周辺の草花についてのお話を伺い、その後、万葉植物園にて草花のスケッチを行いました。稲垣先生は植物画も大変お上手で、スケッチのコツを教えてくださいました。園内にて万葉植物と向かい合い、各々鉛筆を走らせました。心を落ち着けて絵を描くことは日頃なかなかできませんので、良い体験ができました。



その後、大平都築一久様・将子様ご夫妻の庭園「夢来里」まで散策をし、整備された美しいお庭やギャラリーを見学させていただき、昼食は、大平集会所をお借りしました。都築様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

新会員の方も増え、有難いことです。いつでも入会できますので、入会をご希望の方は定福寺までご連絡くださいませ。年会費は千円です。



寄進、御奉仕への感謝

一、金 五十万円也

施主 大滝 門田延子 様

菩提寺興隆 夫 忠雄 〓 菩提の為

一、金 五万円也

施主 高知市 小笠原敏雄 様

菩提寺興隆 駐車場建替えへの御寄進

年間の行事（おまつり）の前後や年末年始には、初穂米、干物、砂糖、野菜、生花等々が届けられます。ご信心な方々には、行事ごとにさしあげるお食事の準備を始め、当日のお手伝いや受付をしていただいています。また責任役員様をはじめ、各地区世話人様、節分世話人様、詠歌会の皆様には多大なご尽力をいただいております。お蔭様で、各行事も厳粛で盛大に行われています。

先祖菩提 仏法興隆のため謹しんで御礼申し上げます。

永代日牌供養新奉加ご芳名

永代日牌供養とは、当山持仏堂（弘法大師、興教大師ご宝前）にお位牌を安置し、毎朝仏飯

とお茶を供えて読経回向し、春彼岸の入りには年忌を迎える仏さまの卒塔婆を建て、年忌ごとに、先祖代々の場合は五年ごとにご案内し、ご供養申し上げます。五十回忌の後も、お位牌は末代安置され、ご供養してまいります。

永代納骨は、万霊供養塔にお骨を納めて永代供養を申し上げます。

一、施主 大滝 小松久保 様

兄 龍一 〓 菩提也

一、施主 神戸市 白石昌久 様

白石家先祖 菩提也

一、施主 いの町 平石 聡 様

御本人逆修

祠堂料志納ご芳名

祠堂料とは、亡き仏さまへの報恩謝徳と菩提寺の興隆を念じて、奉納される浄財です。そのご芳志の高徳にお答えして、菩提寺より、亡きみ仏さまに、院居士、院大姉、居士、大姉の法名が届けられます。

一、施主 佐賀山 松高俊二 様

長男 大樹 〓 菩提也

一、施主 柚木 上地信男 様

父 孝男 〓 菩提也

一、施主 馬瀬 大家 宏 様

父 清 〓 菩提也

一、施主 大滝 門田延子 様

夫 忠雄 〓 菩提也

一、施主 粟生 阿波井忠彦 様

母 麗子 〓 菩提也

一、施主 元大滝 小松健一 様

母 寿美子 〓 菩提也

一、施主 高原 門田浩人 様

叔母 伊東鶴 〓 菩提也

一、施主 高知市 門田栄里 様

夫 正道 〓 菩提也

一、施主 大久保 都築泰仁 様

父 昭仁 〓 菩提也

一、施主 高知市 門田淳一 様

父 速雄 〓 菩提也

一、施主 高知市 山中成也 様

父 健行 〓 菩提也

一、施主 伊丹市 北窪正典 様

父 正吉 〓 菩提也

新聞記事より

アフガニスタンの地で医師の立場で、何をすればいいのかを考え、灌漑などの社会事業に尽力されていた中村哲医師のコラムが、亡くなる2日前に西日本新聞に掲載されました。定福寺を開創された僧侶の行基、真言宗を開かれた空海。この記事や中村さんの活動を知った時、仏教の教えを軸として、民衆のために土木事業や社会事業をおこなった両僧侶の姿勢が浮かびました。心よりご冥福をお祈りいたします。

【アフガンの地で 中村哲医師からの報告】

信じて生きる山の民

2019年12月2日

西日本新聞 国際面

中村哲医師

我々（われわれ）の「緑の大地計画」はアフガニスタン東部の中心地・ジャララバード北部農村を潤し、2020年、その最終段階に入る。大部分がヒンズークシ山脈を源流とするクナール川流域で、

村落は大小の険峻（けんしゅん）な峡谷に散在する。辺鄙（へんぴ）で孤立した村も少なくない。

比較的大きな半平野部は人口が多く、公的事業も行われるが、小さな村はしばしば関心をひかず、昔と変わらぬ生活を送っていることが少なくない。我々の灌漑（かんがい）計画もそうで、「経済効果」を考えて後回しにしてきた村もある。こうした村は旧来の文化風習を堅持する傾向が強く、過激な宗教主義の温床ともなる。当然、治安当局が警戒し、外国人はもちろん、政府関係者でさえも恐れて近寄らない。

● 忠誠集める英雄

ゴレークはそうした村の一つで、人口約5千人、耕地面積は200ヘクタールに満たない。これまで、日本の非政府組織（NGO）である日本国際ボランティアセンターが診療所を運営したことがあるだけで、まともな事業は行われたことがなかった。PMS（平和医療団・日本）としては、計画の完成に当たり、このような例を拾い上げ、計画地域全体に恩恵を行き渡らせる方針を立てている。

同村はジャララバード市内から半日、

クナール川対岸のダラエヌールから筏（いかだ）で渡るか、我々が3年前から工事中の村から遡行（そこう）する。周辺と交流の少ない村で、地域では特異な存在だ。圧倒的多数のパシュトゥン民族の中にあつて、唯一パシャイ族の一支族で構成され、家父長的な封建秩序の下にある。

パシャイはヌーリスタン族と並ぶ東部の山岳民族で、同村の指導者はカカ・マリク・ジャンダール。伝説的な英雄で、村民は彼への忠誠で結束が成り立っている。他部族にも聞こえ、同村には手を出さない。

10月中旬、我々は予備調査を兼ねて、初の訪問を行った。クナール川をはさんで対岸にPMSが作った堰（せき）があり、年々の河道変化で取水困難に陥っていた。ゴレーク側からも工事を行わないと回復の見通しが立たない。ゴレークの方でも取水口が働かず、度重なる鉄砲水にも脅かされ、耕地は荒れ放題である。この際、一挙に工事を進め、両岸の問題を解決しようとした。

最初に通されたのは村のゲストハウスで、各家長約200名が集まって我々を歓待した。他で見かける山の集落とさし

て変わらないが、貧困にもかかわらず、こざっぱりしていて、惨めな様子は少しも感ぜられなかった。

ジャンダールは年齢80歳、村を代表して応対した。彼と対面するのは初めてで、厳（いか）めしい偉丈夫を想像していたが、意外に小柄で人懐っこく、温厚な紳士だ。威あって猛からず、周囲の者を目配せ一つで動かす。

PMSの仕事はよく知られていた。同村上下流は、既に計画完了間際で、ここだけが残されていたからである。

「水や収穫のことで、困ったことはありませんか」

「専門家の諸君にお任せします。諸君の誠実を信じます。お迎えできたことだけで、村はうれしいのです」

●終末的世相の中

こんな言葉はめったに聞けない。彼らは神と人を信じることでしか、この厳しい世界を生きられないのだ。かつて一般的であった倫理観の神髄を懐かしく聞き、対照的な都市部の民心の変化を思い浮かべていた。約18年前（01年）の軍事介入とその後の近代化は、結末が明らかにになり始めている。アフガン人の中にさえ、

農村部の後進性を笑い、忠誠だの信義だのは時代遅れとする風潮が台頭している。

近代化と民主化はしばしば同義である。巨大都市カブルでは、上流層の間で東京やロンドンとさして変わらぬファッションが流行する。見たこともない交通ラッシュ、霞（かすみ）のように街路を覆う排ガス。人権は叫ばれても、街路にうずくまる行倒れや流民たちへの温かい視線は薄れた。泡立つカブル川の汚濁はもはや川とは言えず、両岸はプラスチックごみが堆積する。

国土を省みぬ無責任な主張、華やかな消費生活への憧れ、終わりのない内戦、襲いかかる温暖化による干ばつ―終末的な世相の中で、アフガニスタンは何を啓示するのか。見捨てられた小世界で心温まる絆を見いだす意味を問い、近代化のさらに彼方（かなた）を見つめる。

「アフガンの地で」は、アフガニスタンで復興支援活動を続ける「ペシャワール会」（事務局・福岡市）の現地代表でPMS総院長の中村哲医師（73）によるリポートです。

仏具寄進のお願い

境内の看板にてお伝えさせて頂いております、「十二天屏風」と「種字曼荼羅」への御寄進をお願いいたします。この2つはかつて定福寺にございましたが、焼失いたしております。定福寺の本堂では灌頂という儀式が行われておりました。その儀式に必要な仏具でございます。

十二天屏風は仏教の護法善神である神の諸尊12神が描かれています。儀式の間この屏風を立てることににより無事に儀式が行えるとされています。十二天神とは、①帝釈天・②火天・③焰摩天・④羅刹天・⑤水天・⑥風天・⑦毘沙門天・⑧伊舍那天・⑨梵天・⑩地天・⑪日天・⑫月天です。種字曼荼羅とは、曼荼羅の仏さまを梵字で描いたものです。

それぞれの仏具には住所と名前が記され、後世まで残ります。また石碑を建立させて頂きます。

種字曼荼羅は5人（1人40万円）、十二天屏風は5人（1人30万円）、種字曼荼羅は1人の方から御寄進を賜りました。

永続米（護持会費）の納入についてのお願い （令和2年分）

町内檀信徒の皆様は、各地区総代（護持会代表）・世話人様のお世話により、一月中に納入されています。町外檀信徒の皆様は、振替用紙にてお納めくださいますようお願い致します。尚、納められた浄財は、私たちの総本山智積院への負担金及び定福寺の護持興隆の為に使用させていただきます。（振替用紙をご利用ください）

金 1,500円以上也

1月末までにお納めください

郵便口座 口座記号 01620-7

口座番号 12426

加入者名 宗教法人 栗生山 定福寺

2020年

令和2年度年回表

一周忌	平成31年・令和元年
三回忌	平成30年
七回忌	平成26年
十三回忌	平成20年
十七回忌	平成16年
二十五回忌	平成8年
三十三回忌	昭和63年
五十回忌	昭和46年
百回忌	大正10年

以下50年目ごと

土砂加持法要ご案内

四月一日（水）午後二時（本堂）

法話 十二時半より

真言宗智山派 萬福寺住職 石川照貴
僧正のご法話がございます。石川僧正は、現在、千葉県成田山新勝寺にお勤めされ、智山派の中枢機関の一つの講伝所の先生であり、住職も本山で指導を頂きました。是非お越しくださいませ。昼の十二時半より本堂に於いて、御法話を頂きます。法要は、県下真言宗寺院様のご出席をいただき、新仏さまのご加入とご先祖さまのご供養が厳修されます。どうぞご参詣ください。尚ご先祖様の永代供養をご希望の方は、お申込みくださいませ。

定福寺のお線香と散華

お香は松栄堂、箱は長老二女の高田明が描き、文字は、先々代義光和尚が書いた定福寺のお線香ができました。また四月一日の土砂加持法要で僧侶が撒く散華が造られました。表を高田明、裏を長老龍宏が文字を記しています。

○お線香 一、〇〇〇円
○散華 一、二〇〇円
(12枚入り)

定福寺開創	1,296年前
本尊造立	868年前
本堂再建	240年前

仏誕	2586年
西暦	2020年
明治から	満152年
大正から	満108年
昭和から	満95年



ふぢ（やまふじ）

マメ科（木本類）

落葉藤本。花期は5月～6月。

つるは左巻き。下部から先へ順に咲く。

写真は岩原紺屋の藤

館を建て直す際に石垣にあった古い藤の木を何とか残してもらいました。そのツルは宝物館のベランダ手すりに巻き付き伸びています。たくさんのお花房をつけてくれるのが楽しみです。藤棚に仕立てられているご家庭もあるかと思いますが、岩原の岡崎さん宅の藤棚はたいへん大きく、その圧倒的な美しさに感激します。

恋しければ形見にせむとわがやどに植ゑし藤波いま咲きにけり

山部赤人（万葉集巻八一四七二）

ほととぎすが恋しくなったらさすがにして偲ぼうと、私の庭先に植えておいた藤の花が今波打って咲いたところです。

藤の花にほととぎすを偲んでいる歌。

団体参拝の御案内

令和二年九月二十三日から二十五日まで京都の総本山智積院に宿泊し、高野山、根来寺を訪れる団体参拝を計画いたします。

参加人数は四十名程度を考えています。大豊町外から参加されたい方は、高知駅周辺、南国道の駅などに立ち寄ることも考えています。

参加されたい方は、定福寺までご連絡をください。

藤は山桜の花の終り頃に花を咲かせるので、初夏の到来を感じさせる花ではないでしょうか。花は大きな房となって密生し、ボリュームを感じさせることから「藤波」と呼ばれることがあります。万葉集には藤を藤波と表現したものが多くあります。それも含めて藤を歌ったものは二十七首あります。



岩原地区より徳島県の有瀬地区を望む

定福寺の諸仏像（県指定12体 ○印）・堂宇

定福寺本堂

- 阿弥陀如来像(本尊)
- 薬師如来像(脇土)
- 地藏菩薩像(脇土)
- 不動明王像
- 毘沙門天像
- 大聖歓喜天像
- 十一面観音像
- 不動明王像
- 矜羯羅童子像
- 制吒迦童子像
- 大黒天像

宝物殿

- 六地藏（笑い地藏）
- 十一面観音菩薩（定福寺奥ノ院）
- 聖徳太子立像
- 不動明王座像
- 弘法大師座像（御影堂）
- 毘沙門天

持仏堂（大師堂）

- 弘法大師座像
- 聖観音立像
- 地藏菩薩立像
- 行基菩薩座像
- 興教大師座像

〈国登録有形文化財〉 本堂、持仏堂(大師堂)

境内

- 弘法大師修行像
- 十三仏像
- 七福神像
- 四国88ヶ所お砂踏
- 仁王尊像
- 稚児大師像
- 薬師如来像

令和2年 当山年中行事

行 事	日 時
修 正 会 初護摩祈祷 大般若経転読	1月1日 午前0時より
修 正 会 大護摩祈祷 大般若経転読	1月2・3日 午前9時より
七 福 神 ま つ り（福笹授与・七草がゆ接待）	1月7日 11時
節 分 会（厄はね歳とり）大護摩祈祷	2月3日 13時
檀 信 徒 年 回 忌 先 祖 総 供 養（彼岸中日）	3月20日 13時
土 砂 加 持 法 要（先祖菩提総供養）法話 12時より	4月1日 14時
加 持 ヶ 峰 奥 ノ 院 大 師 縁 日 大護摩祈祷（旧暦3月21日）	4月13日 13時
花 ま つ り（大念珠まわし・百足除札授与・甘茶接待）	4月30日（旧暦4月8日）10時
蓮 ま つ り（万霊供養）土佐豊永万葉植物園保存会主催	7月初旬～8月中旬
諸 病 き ゅ う り 封 じ 祈 祷 土用の丑	7月21日 9時
お 盆 総 供 養（迎え火）	8月13日 9時
施 餓 鬼 供 養（千体地藏流し・送り火）東土居川原	8月16日 16時
も み じ ま つ り	11月初旬～12月初旬
栗 生 聖 天 結 願 祭（開運福寿）	11月16日 9時～14時
除 夜 の 鐘	12月31日
栗 生 聖 天 ご 縁 日	毎月 1日・16日
詠 歌 会（午前10時～12時）	毎月 2回

御法事を営まれる際はなるべく早目にお申し込みくださいますようお願いいたします。
（友引は葬儀、法事は執り行いません）お塔婆は1本二千円です。

発 行 所

真言宗智山派
宗教法人 栗生山 定 福 寺
〒789-0167 高知県長岡郡大豊町栗生
☎ 0887 (74) 0301(代) FAX 0887 (74) 0302
<http://www1.quolia.ne.jp/~jofukuji/>

郵便口座 口座記号 01620-7 口座番号 12426
加入者名 宗教法人 栗生山 定福寺

住 職 釣井 龍秀
長 老 釣井 龍宏
法類総代 竹林寺住職
責任役員 海老塚和秀
責任役員 下村 堯基
責任役員 都築 康博
地区護持会 小笠原俊一
遍照講詠歌会議員 代表会 一同

令和二年 庚子閏